nikko am
Nikko Asset Management

Fund Information
販売用資料

2020年3月13日
日興アセットマネジメント株式会社

資源ファンド（株式と通貨）

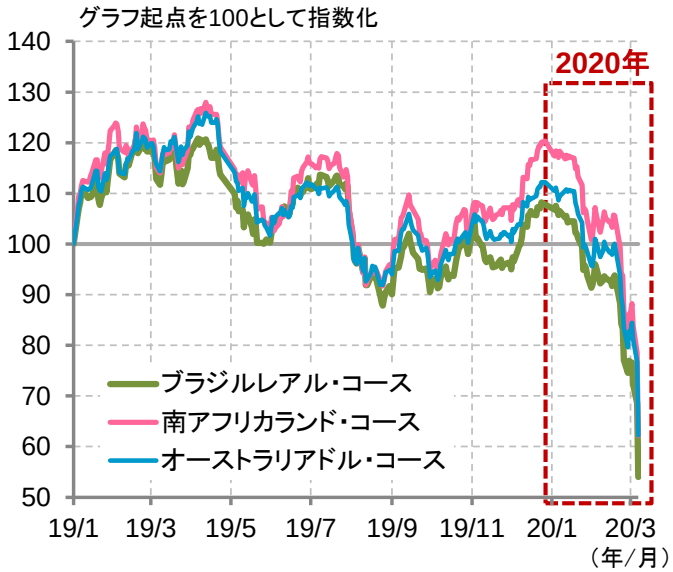
ブラジルレアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース

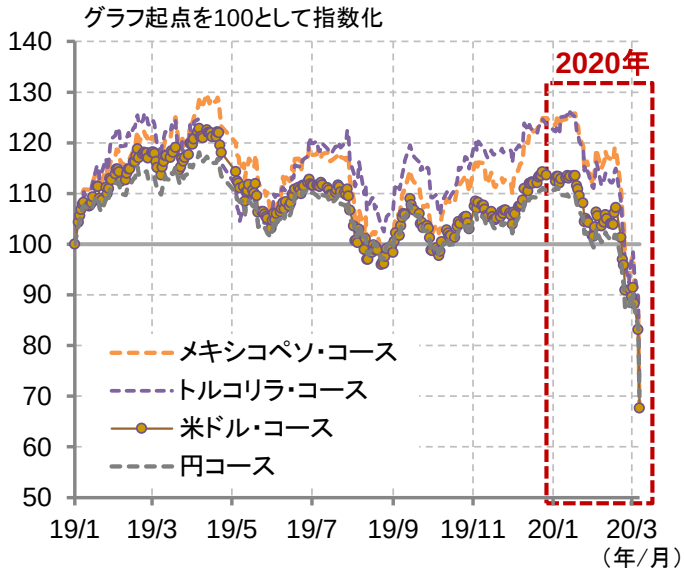
足元の基準価額下落について

- 2020年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大への警戒感が市場で拡がるなか、資源関連株式（以下、資源株）および資源国通貨は調整が続く展開となりました。加えて、3月初旬には、原油価格の急落も背景に、当ファンドの基準価額は大きく下落しました。
- 本資料では、足元の市場環境と、当ファンドの実質的な運用を担当する日興アセットマネジメント アメリカズ・インクのファンド・マネージャーのコメントをご紹介いたします。

基準価額は底堅く推移した昨年から一転し、1月下旬以降に急落

＜各コースの基準価額（税引前分配金再投資ベース）**の推移＞**
（2019年1月4日～2020年3月10日）





基準価額＊の年初来騰落率（2020年3月10日時点）　＊税引前分配金再投資ベース

ブラジルレアル・コース	南アフリカランド・コース	オーストラリアドル・コース	メキシコペソ・コース	トルコリラ・コース	米ドル・コース	円コース
-49.9%	-48.3%	-44.5%	-46.3%	-41.4%	-40.5%	-36.7%

※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。
※基準価額（税引前分配金再投資ベース）は、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様に「資源ファンド（株式と通貨）ブラジルレアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

足元の投資環境

新型ウイルス拡大懸念に伴なう投資家心理の悪化が重石に

■ 資源株

資源株は、米中通商協議の進展や主要産油国による協調減産強化への期待などを背景に、2019年10月以降、堅調に推移してきましたが、2020年に入ると、**中国発の新型コロナウイルスの感染拡大への警戒感が市場で台頭し、投資家のリスク回避姿勢が強まるなか、株式市場および資源価格は総じて下落基調となりました。**なかでも原油価格は、中国の経済活動の停滞を背景に、同国の原油需要の大幅な落ち込みが報じられたことも押し下げ要因となり、2月4日にWTI原油先物価格で1バレル＝50米ドル割れまで落ち込みました。

その後、主要産油国による協調減産強化への思惑や新型ウイルスの中国国内での感染ペース鈍化などから、原油価格は値を少し戻したものの、2月下旬に中国国外での感染拡大が確認されると、原油価格は再び下落基調に転じました。さらに、3月上旬に主要産油国による協調減産の強化を巡る交渉がロシアの反対で決裂し、サウジアラビアが増産姿勢に転じたと報じられると、原油価格は一段と急落し、3月9日にはWTIベースで31米ドルと、2016年2月以来の水準になりました。こうしたなか、資源株も総じて値動きの荒い展開となりました。

■ 資源国通貨

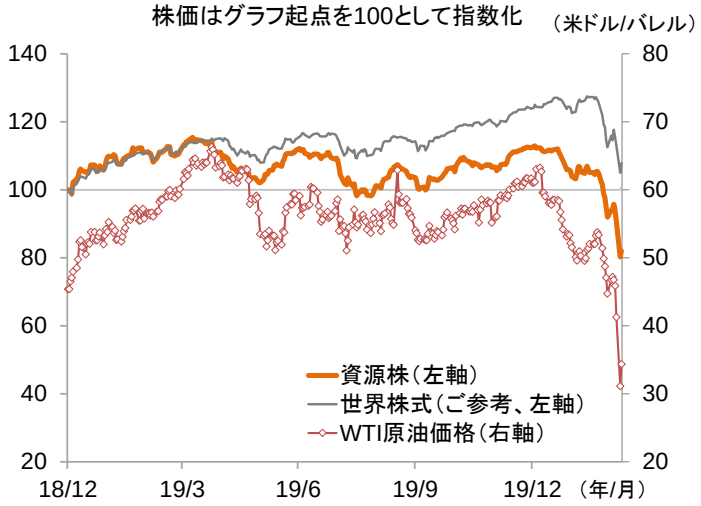
外国為替市場では、2019年12月に米中通商協議が部分合意に至ったことを背景に、投資家心理が改善するなか、年末にかけて、資源国通貨は対円で総じて上昇基調（円安）となりました。

しかし、2020年初以降、米国とイランの対立激化や、**新型ウイルスの感染拡大への警戒感から、リスク回避の円買い需要が高まり、資源国通貨は対円で下落基調（円高）**となりました。さらに、3月以降は、原油価格の急落を背景に、一段と下落幅が拡大する展開となりました。

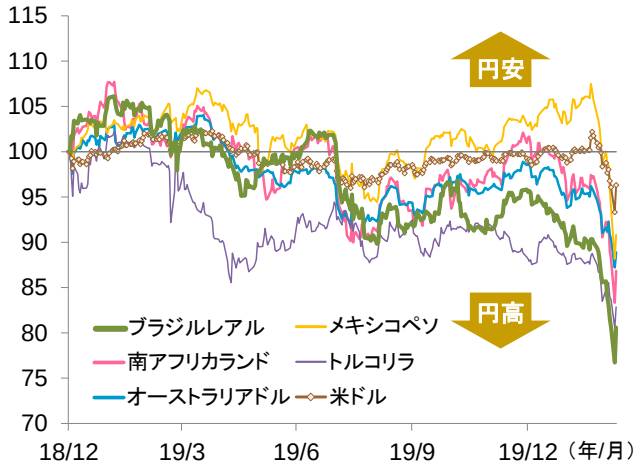
ブラジルレアルは、新型ウイルスの感染拡大で景気減速懸念が強まった中国が主要輸出先であることに加え、2月下旬にブラジル国内で中南米初の感染者が確認されたことが嫌気され、特に下落率が大きくなりました。

2019年以降の主要資産の推移

＜資源株と原油価格の推移（米ドルベース）＞
（2018年12月末～2020年3月10日）
株価はグラフ起点を100として指数化



＜為替（対円）の推移＞
（2018年12月末～2020年3月10日）
グラフ起点を100として指数化



資源株：S&Pｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ﾅﾁｭﾗﾙ・ﾘｿｰｼｽﾞ指数、世界株式：MSCI AC ﾜｰﾙﾄﾞ指数
※ 上記指数は、市況動向をご紹介するための参考指標であり、当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様に「資源ファンド（株式と通貨）ブラジルレアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用者のコメント①

新型ウイルスの影響と原油価格の急落について

【新型ウイルスの影響】 短期的な相場変動が懸念されるものの、金融緩和が経済の下支えに

- 新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に悪影響を及ぼすとの警戒感は、資源価格や資源株の重石になると考えられます。特に、世界最大の原油輸入国である中国では、通常、季節的に原油在庫が積みあがる時期ですが、新型ウイルスの感染拡大を防ぐ為に旅行などの移動が制限されているため、消費抑制に伴なう需給悪化懸念が原油価格の短期的な上値を抑えている一面があります。
- 足元で、新型ウイルスの感染拡大の収束見通しは不透明であり、依然として状況は流動的です。しかし、各国で十分な対策がとられ、時間は掛かるとみられるものの、感染拡大が抑制できれば、市場は徐々に落ち着くものと期待されます。
- 現段階では、**新型ウイルスが取り沙汰される以前に我々が予想していた経済成長のトレンドから大きな変更はない**と考えています。背景として、一部の米経済指標などは足元で底堅いことに加え、主要中央銀行が協調緩和を行なう姿勢を示していることが挙げられます。実際に、米国は3月3日に緊急利下げを実施しており、今後も感染拡大に伴なう経済への下押し圧力を抑制するため、一段の金融緩和を実施する可能性が考えられます。さらに、資源価格の下落は、輸送燃料コストの低下という形で消費者へ恩恵をもたらすとみられます。

【原油価格の急落】 正常化までは時間がかかるものの、長期的には需給均衡へ

- 主要産油国間での交渉決裂を受け、協調減産を主導してきたサウジアラビアが一転して増産や石油の販売価格の引き下げを示唆したことが報じられると、原油価格は急落しました。このように、ウイルス流行による需要面でのショックと、増産による供給面でのショックが重なることは、過去数十年で前例のない状況であると考えています。
- 原油価格の急落を受け、米シェール企業のような高コストの生産者はもちろん、ロシア企業のような低コストの生産者でさえも、足元の低水準の原油価格では、利益の確保が難しくなると予想されます。生産コストがとりわけ低いサウジアラビアであっても、原油への依存度が高いことから、長期的には原油価格の上昇が必要となる可能性が高いと考えられます。
- ただし、短期的には、価格が引き続き低迷しやすい状況にあると考えています。原油価格は、投機資金の流出入などによる影響を受けやすく、こうした状況下では、ファンダメンタルズに基づく適正水準から乖離して変動が大きくなる傾向にあるため、**正常化した水準に戻るまでには時間がかかる**可能性があります。
- 原油価格の下落によって、小規模な生産者やバランスシートの健全でない生産者は、掘削活動の延期や停止を余儀なくされるとみられることから、**長期的には、供給の減少によって原油市場が均衡に向かい、原油価格の回復につながる**ものと期待されます。

※ 当資料は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」を運用する日興アセットマネジメントアメリカズ・インクからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

■当資料は、投資者の皆様に「資源ファンド（株式と通貨）ブラジルレアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用者のコメント②

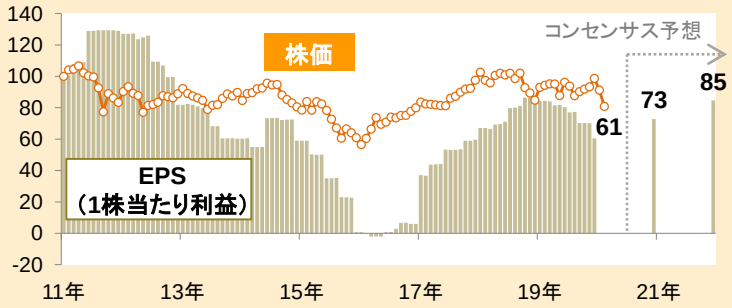
引き続き企業ファンダメンタルズに着目して資源各社に投資

【資源関連企業】企業ファンダメンタルズは依然底堅く、足元の下落は絶好の投資機会

- 資源関連企業の多くは、**コスト削減や規律ある設備投資といった財務の健全性を重視した施策を継続しており、収益力やキャッシュフロー創出力の向上など、各社のファンダメンタルズは改善傾向**となっています。2019年10-12月期決算をみると、多くの資源関連企業が市場予想並み、あるいはそれを上回る内容の決算や業績見通しを発表しました。バランスシートの改善などを背景に、自社株買いや配当の増加など、株主還元の一段の積極化が期待されることは、資源株の下支え要因になると考えられます。
- 原油価格の急落は石油関連企業にとって逆風になるとみられます。しかし、2015～16年頃、原油価格が大幅に下落した際、ファンダメンタルズが良好な企業は、財務体質の強化を進めることで乗り切ったように、今回も同様に対応し、市場が落ち着きを取り戻した際には、市況の回復の恩恵を受けると期待されます。
- 足元では、新型コロナウイルスの感染拡大が資源需要に大きく影響を及ぼすとの見方から、資源株は相対的に大きく売られました。特に、投資家心理が著しく悪化している局面では、パフォーマンスが芳しくない株式が換金売りのターゲットになりやすく、更に値下がりするという悪循環が発生する傾向がみられます。
- 新型ウイルスの予期せぬ影響や、協調減産を巡る産油国の動向には引き続き注視が必要ですが、**不当に売られ過ぎたとみられるエネルギーセクターや素材セクターの企業の多くは、長期的なファンダメンタルズが良好であることから、足元の状況は絶好の投資機会**であると捉えています。当ファンドでは、こうした状況のなかで、慎重な銘柄精査を行ないながら、特に良好なバランスシートを持つ銘柄の保有比率の引き上げを検討したいと考えています。

※ 当資料は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」を運用する日興アセットマネジメントアメリカズ・インクからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

＜資源株の株価とEPS（1株当たり利益）の推移＞
（2011年1月末～2020年2月末＊）



株価、EPSともグラフ起点を100として指数化

＊EPSは2021年末予想まで
（資料作成時点の予想値）

資源株：S&Pグローバル・ナチュラル・リソーシズ指数
（米ドルベース）
※上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに
日興アセットマネジメントが作成

※上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様に「資源ファンド（株式と通貨）ブラジルレアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

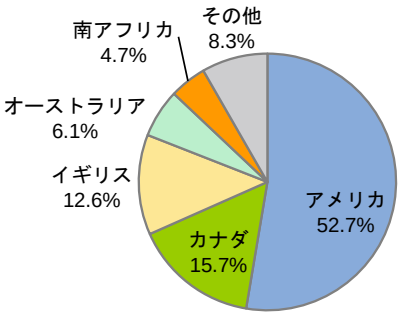
※以下は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」のポートフォリオの内容です。

ポートフォリオ概要（2020年1月末現在）

業種比率

業種	比率
エネルギー	48.9%
素材	46.5%
生活必需品	2.1%

国別株式組入比率



株式組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	業 種	比率
1	BHPグループ	イギリス	素材	5.92%
2	リオ・ティント	オーストラリア	素材	5.02%
3	ニュートリエン	カナダ	素材	3.94%
4	シュルンベルジェ	アメリカ	エネルギー	3.67%
5	エクソンモービル	アメリカ	エネルギー	3.59%
6	シェブロン	アメリカ	エネルギー	3.45%
7	ロイヤル・ダッチ／シェル	イギリス	エネルギー	3.32%
8	トタル	フランス	エネルギー	3.28%
9	アングロ・アメリカン	南アフリカ	素材	3.20%
10	ハリバートン	アメリカ	エネルギー	2.66%

【銘柄数：64銘柄】

※上記比率は、「ナチュラル・リソース・ファンド」の組入株式評価総額に対するものです。
※各数値は四捨五入処理をしておりますので、合計が100%にならない場合があります。

【ご参考】株式配当利回りと各通貨の金利差相当分

（2020年1月末現在）

	ブラジル レアル・コース	南アフリカ ランド・コース	オーストラリア ドル・コース	メキシコ ペソ・コース	トルコ リラ・コース	米ドル・ コース	円コース
株式配当利回り	4.13%	4.13%	4.13%	4.13%	4.13%	4.13%	4.13%
金利差相当分	2.69%	4.73%	▲0.86%	5.85%	8.74%	—	▲1.73%
合　計	6.81%	8.85%	3.27%	9.97%	12.86%	4.13%	2.40%

●株式配当利回り：「ナチュラル・リソース・ファンド」の株式配当利回り
●金利差相当分：各通貨の短期金利から米ドル短期金利を差し引いて算出。使用している各金利は以下の通り。
ブラジルレアル：1ヵ月国債利回り、南アフリカランド：ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリード・レート1ヵ月、
オーストラリアドル：1ヵ月物銀行手形金利、メキシコペソおよびトルコリラ：銀行間金利、円および米ドル：1ヵ月LIBOR

※各数値は四捨五入処理をしておりますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
※金利差相当分は、各資源国通貨と米ドル間の金利差水準によっては為替取引によるコストとなり、運用成果にマイナスに働くこともあります。
※実際の運用においては、為替取引時の手数料相当額などが金利差相当分に加味されます。

日興アセットマネジメント アメリカズ・インクより提供された情報をもとに、日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様に「資源ファンド（株式と通貨）ブラジルレアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

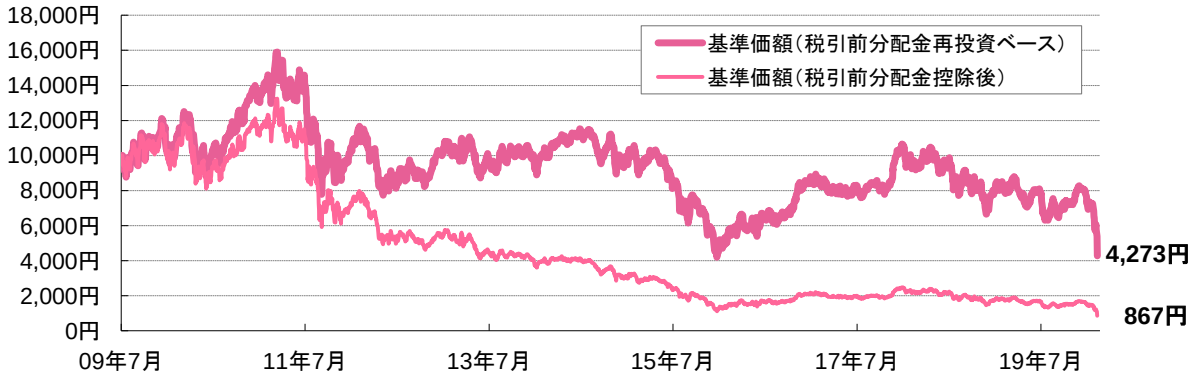
基準価額の推移①

2009年7月31日（設定日）～2020年3月10日

ブラジルレアル・コース

分配金実績	09/9～09/10	09/11～10/12	11/1～12/5	12/6～13/9	13/10～14/12	15/1～15/6	15/7～15/12	16/1～20/2	設定来合計
	90円/月	120円/月	150円/月	120円/月	100円/月	60円/月	30円/月	10円/月	8,870円

南アフリカランド・コース



分配金実績	09/9～09/12	10/1～10/12	11/1～12/5	12/6～13/9	13/10～14/12	15/1～15/6	15/7～15/12	16/1～20/2	設定来合計
	70円/月	100円/月	150円/月	120円/月	80円/月	50円/月	25円/月	10円/月	8,100円

オーストラリアドル・コース

分配金実績	09/9～09/10	09/11～10/12	11/1～12/5	12/6～13/9	13/10～14/12	15/1～15/6	15/7～15/12	16/1～20/2	設定来合計
	40円/月	80円/月	150円/月	120円/月	100円/月	60円/月	30円/月	10円/月	8,210円

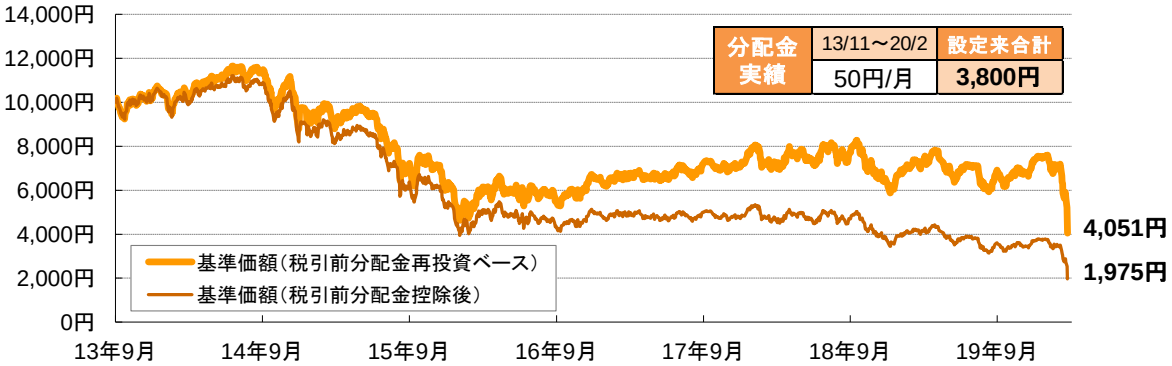
※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
※ 基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

■当資料は、投資者の皆様に「資源ファンド（株式と通貨）ブラジルレアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

基準価額の推移②

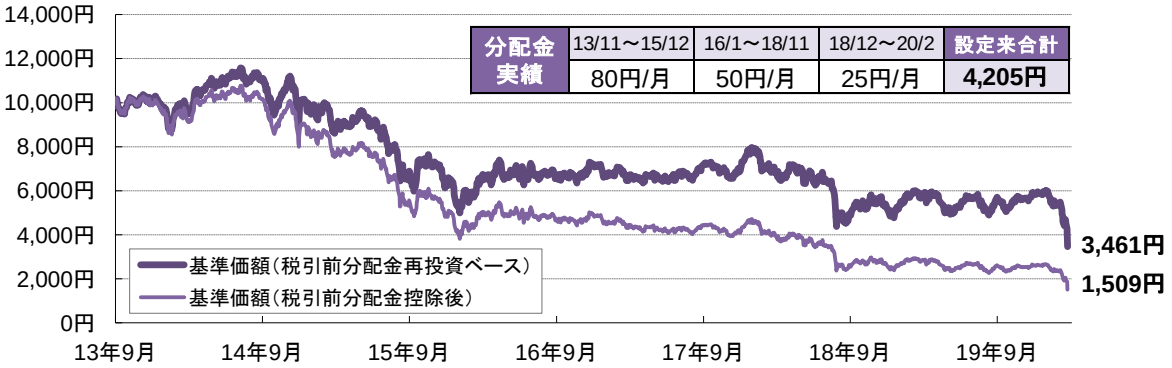
2013年9月18日（設定日）～2020年3月10日
※円コースのみ、2012年4月2日（設定日）～2020年3月10日

メキシコペソ・コース



分配金実績	13/11～20/2	設定来合計
	50円/月	3,800円

トルコリラ・コース

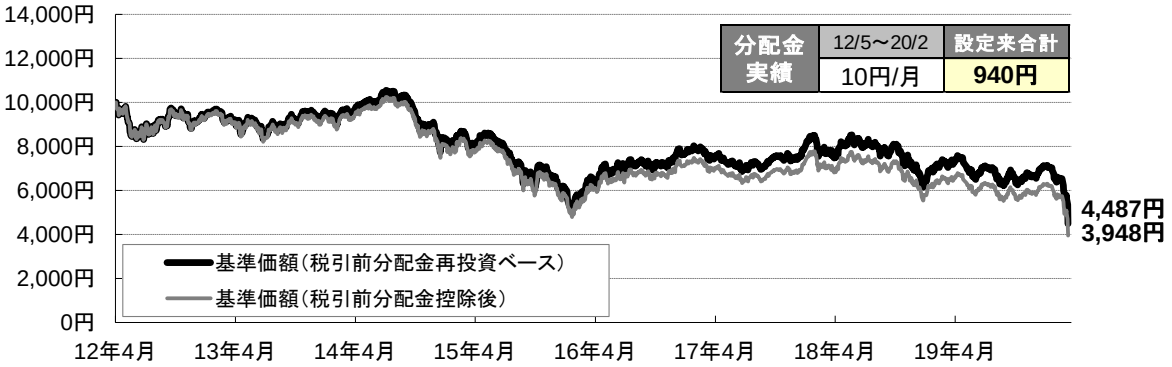


分配金実績	13/11～15/12	16/1～18/11	18/12～20/2	設定来合計
	80円/月	50円/月	25円/月	4,205円

米ドル・コース

分配金実績	13/11～14/12	15/1～15/6	15/7～20/2	設定来合計
	20円/月	30円/月	50円/月	3,260円

円コース



分配金実績	12/5～20/2	設定来合計
	10円/月	940円

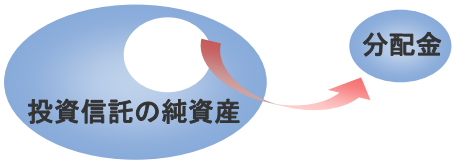
※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
※ 基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

■当資料は、投資者の皆様に「資源ファンド（株式と通貨）ブラジルレアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

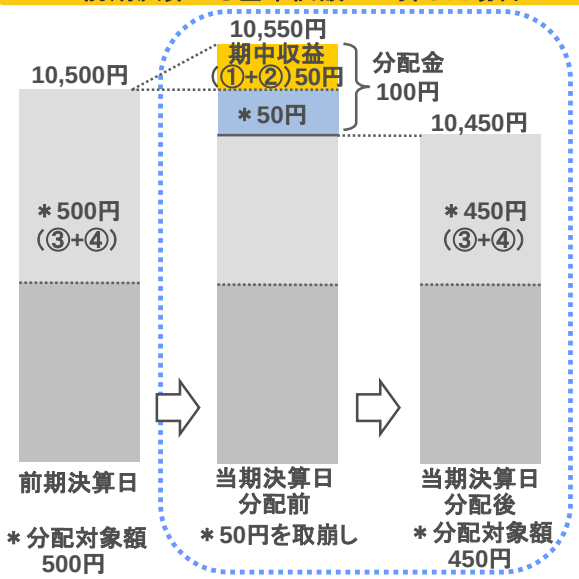
投資信託で分配金が支払われるイメージ



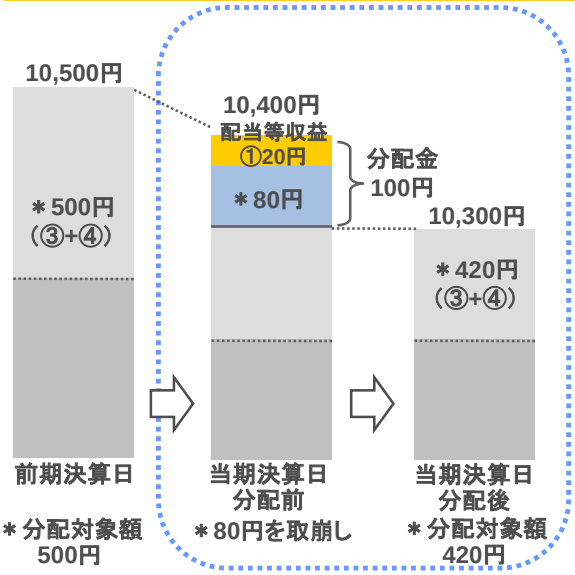
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



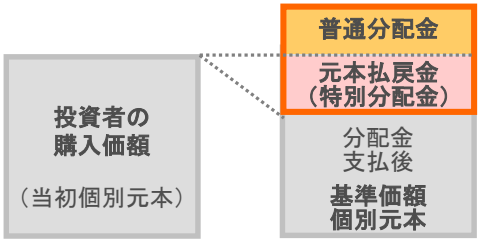
前期決算から基準価額が下落した場合



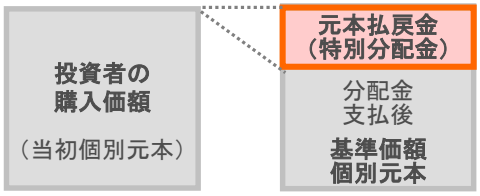
（注）分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。
また、元本払戻金（特別分配金）部分は**非課税扱い**となります。

普通分配金　：　個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金（特別分配金）　：　個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

■当資料は、投資者の皆様に「資源ファンド（株式と通貨）ブラジルレアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1 主として世界の資源株に投資を行ない、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

2 「ブラジルレアル・コース」「南アフリカランド・コース」「オーストラリアドル・コース」「メキシコペソ・コース」「トルコリラ・コース」「米ドル・コース」「円コース」の7つのコースがあります。

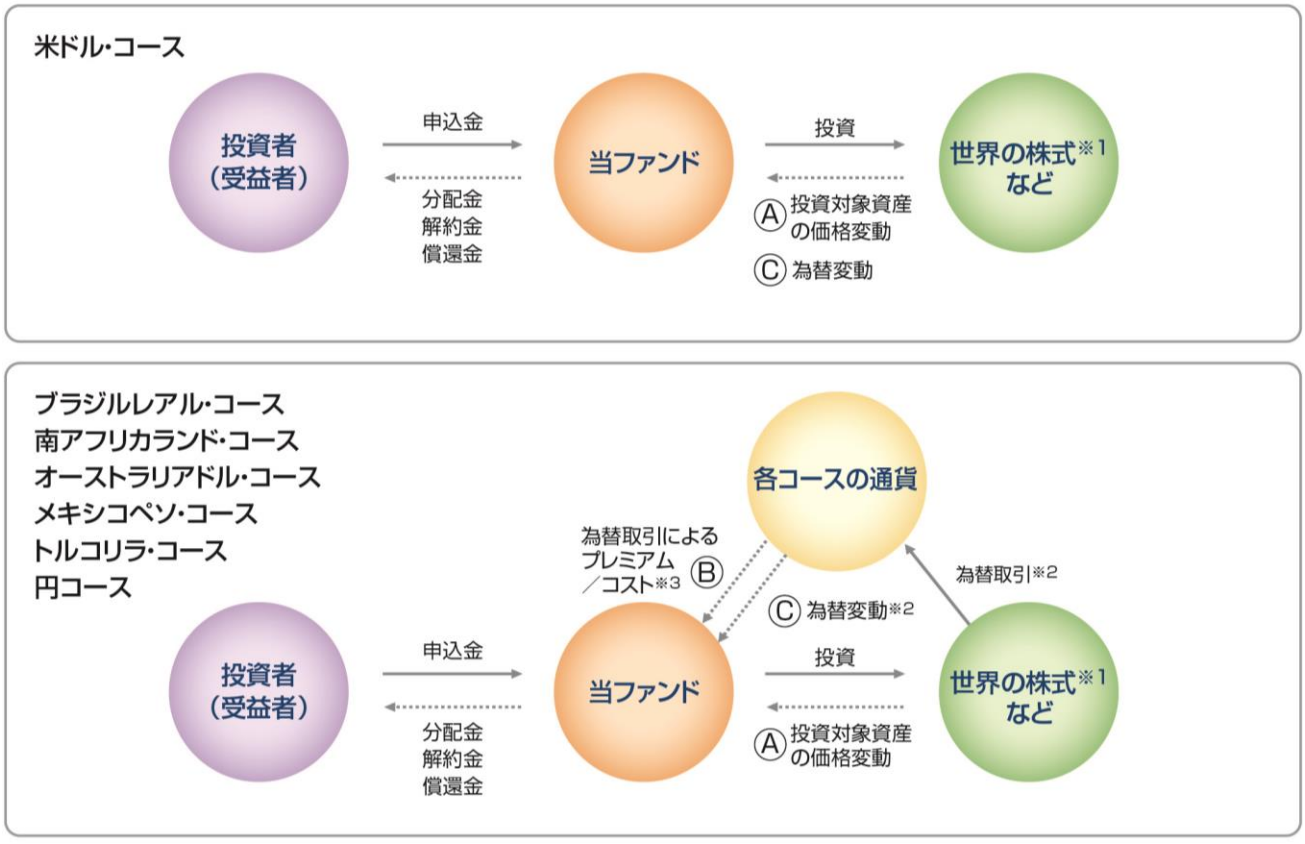
3 毎月、収益分配を行なうことをめざします。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項①

●通貨選択型の投資信託は、投資対象資産（株式や債券など）の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行なっており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



※1 当ファンドは、外国投資信託を通じて世界の株式に投資を行ないます。
※2 円コースは、原則として為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。各コースの通貨が円以外の場合には、各コースの通貨と円の為替変動リスクがあります。
※3 為替取引によるプレミアム／コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益／費用です。

■当資料は、投資者の皆様に「資源ファンド（株式と通貨）ブラジルレアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項②

●通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在しています。詳しくは、「リスク情報」をご覧ください。

収益の源泉		= Ⓐ 株価の値上がり／値下がり	+ Ⓑ 為替ヘッジプレミアム／コスト	+ Ⓒ 為替差益／差損
米ドル・コース	収益を得られるケース	株価の上昇*	為替ヘッジを行なわないのでありません。	為替差益の発生 原資産通貨に対して**円安**
	損失やコストが発生するケース	株価の下落*		為替差損の発生 原資産通貨に対して**円高**

収益の源泉		= Ⓐ 株価の値上がり／値下がり	+ Ⓑ 為替ヘッジプレミアム／コスト	+ Ⓒ 為替差益／差損
円コース	収益を得られるケース	株価の上昇*	ヘッジプレミアムの発生 円の金利 ー 米ドル金利 が**プラス**	原則として為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。
	損失やコストが発生するケース	株価の下落*	ヘッジコストの発生 円の金利 ー 米ドル金利 が**マイナス**	

収益の源泉		= Ⓐ 株価の値上がり／値下がり	+ Ⓑ 為替取引によるプレミアム／コスト	+ Ⓒ 為替差益／差損
ブラジルレアル・コース 南アフリカランド・コース オーストラリアドル・コース メキシコペソ・コース トルコリラ・コース	収益を得られるケース	株価の上昇*	プレミアム（金利差相当分の収益）の発生 各コースの通貨の金利 ー 米ドル金利 が**プラス**	為替差益の発生 各コースの通貨に対して**円安**
	損失やコストが発生するケース	株価の下落*	コスト（金利差相当分の費用）の発生 各コースの通貨の金利 ー 米ドル金利 が**マイナス**	為替差損の発生 各コースの通貨に対して**円高**

*ADRに投資する場合、ADRの価格には、当該現地株式の通貨に対する米ドルの変動が含まれます。そのため、当該現地株式の通貨に対して米ドル安であれば、株価上昇要因、当該現地株式の通貨に対して米ドル高であれば、株価下落要因となります。
※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

通貨運用に関する留意事項

●各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引（NDF取引）を活用する場合があります。
●NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行なわず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
●NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）／コスト（金利差相当分の費用）が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。

■為替取引には、為替ヘッジ（原資産通貨を売り、円を買う取引）が含まれています。為替ヘッジの場合、「為替取引によるプレミアム／コスト」を「為替ヘッジプレミアム／コスト」といいます。

■当資料は、投資者の皆様に「資源ファンド（株式と通貨）ブラジルレアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式（預託証書を含みます。以下同じ。）を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

○ 当資料は、投資者の皆様に「資源ファンド（株式と通貨）ブラジルレアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
○ 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
○ 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
○ 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位　※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	【ブラジルレアル・コース】【南アフリカランド・コース】【オーストラリアドル・コース】 2024年6月17日まで（2009年7月31日設定） 【メキシコペソ・コース】【トルコリラ・コース】【米ドル・コース】2024年6月17日まで（2013年9月18日設定） 【円コース】 2024年6月17日まで（2012年4月2日設定）
決算日	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込み日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込み（スイッチングを含みます。）の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.85%（税抜3.5%）以内 ※購入時手数料（スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が定めます。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 ※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。また、販売会社によっては、他のファンドとスイッチングを行なえる場合があります。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞

運用管理費用 （信託報酬）	純資産総額に対し年率1.81%（税抜1.71%）程度が実質的な信託報酬となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.1%（税抜1%）、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.71%程度となります。 受益者が実質的に負担する信託報酬率（年率）は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。
その他の 費用・手数料	【ブラジルレアル・コース】【南アフリカランド・コース】【オーストラリアドル・コース】 目論見書などの作成・交付に係る費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。 【メキシコペソ・コース】【トルコリラ・コース】【米ドル・コース】【円コース】 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■当資料は、投資者の皆様に「資源ファンド（株式と通貨）ブラジルレアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第368号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕　www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

ブラジルレアル・コース	南アフリカランド・コース	オーストラリアドル・コース	メキシコペソ・コース	トルコリラ・コース	米ドル・コース	円コース	金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会 日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
○	○	○	○	○	○	○	藍澤證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第6号	○	○		
○	○	○	○	○	○	○	あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第35号	○			
○	○	○	○	○	○	○	エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第6号	○			
○	○	○	○	○	○	○	SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
○	○	○					株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	
○	○	○	○	○	○	○	ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第114号	○			
○	○	○	○	○	○	○	東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○		○	○
○	○	○	○	○	○	○	東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第121号	○			○
○	○	○	○	○	○	○	日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第131号	○		○	
○	○	○	○	○	○	○	八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第21号	○	○		
○	○	○	○	○	○	○	ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第20号	○			
○	○	○	○	○	○	○	フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○			
○	○	○	○	○	○	○	マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第20号	○			
○	○	○					株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第6号	○		○	○
○							三田証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第175号	○			
○	○	○	○	○	○	○	楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

（50音順、資料作成日現在）

■当資料は、投資者の皆様に「資源ファンド（株式と通貨）ブラジルレアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース／メキシコペソ・コース／トルコリラ・コース／米ドル・コース／円コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。